

会場 JPタワー ホール&カンファレンス・東京国際フォーラム

会期 2020年2月12日(水)~13日(木)

規模 160人

DMOの
関わり 会議会場の提案、レセプションの企画・運営支援、
街あるきMAPの作成、招聘者向けウォークガイドの実施

概要

国土交通省・内閣府が共同主催の国際会議・ワークショップ。全国から街づくりに携わる自治体の若手職員の方が参加されるため、「東京らしさ」をアピールしたいというご要望があり、東京駅舎を一望できる会場提案、写真映えするスポットを記載したオリジナル街あるきMAPの作成、エコバッグのご提供と多岐にわたるサポートをさせていただきました。



東京駅を一望できる開放的な空間での閉会レセプション

最終日の夜に東京の良さをアピールできる場所で閉会レセプションを行いたいというリクエストがあり、新丸の内ビル7Fのレストランフロア「丸の内ハウス」のうち2店舗を貸切のご提案をしました。当日は2月にしては暖かい夜で、多くの参加者にテラスに出てお食事やワインを楽しんでいただくことができました。





街づくりに携わる自治体職員の方々に、写真映える丸の内らしいスポットを見ながら歩いてもらいたい、というリクエストがあり、オリジナルの街あるきMAPを作成しました。エリア内から10か所を選定し、閉会レセプションの会場へ各参加者が徒歩移動する際に活用いただきました。



MAPは英語でも作成し、海外招聘者向けのウォークガイドも実施しました。

i-都市交流会議 2020 / 街あるきMAP

●は撮影スポットです。▲は水 ●は丸の内駅舎の周辺に撮影スポットを設けています。詳しくはこちらをご覧ください。 #marunouchi #東京丸の内 #街あるきMAP

① 丸の内駅舎「KITTEガーデン」 旧東京中央郵便局舎の一部を保存・復元して建設されたPタワー商業施設「KITTE」の6Fにある屋上庭園。東京駅丸の内駅舎が見下ろせる絶景ポイント。

② 東京国際フォーラム ガラス橋 建築家アール・エリック・ソウが設計した、**丸の内線大島橋**を再現。ガラス橋は曲線美を兼ね備えた空間となり、緑と橋と建物の表情を見ている。

③ 丸の内仲通り 特等ラウンジの「丸の内」が行われた千代田区。経路は交通規制し、アーバンラスとして魅力的な場を創出している。11月～2月まではイルミネーションを実施。

④ 三三一号館広場 オアシスビルと三三一号館美術館に囲まれた空間。11月まで噴水が流れている。都市緑化機構により「都市のオアシス認定緑地」に選定された。

⑤ 明治生命館 1934年に竣工された**重要文化財**。職員の労働環境改善司令部によって使用された応接室などが見学可能。(水・木・金のみ)

⑥ 丸の内ビルディング（丸ビル） 2002年に生まれ変わったオフィスビル。隣ビル。1923年に竣工した当時に基礎に使われていた**鉄の軌がアート作品**と なって、**行幸路**に展示されている。

⑦ 行幸（ぎょうこう）通り 皇宮の公務行事や外国大使の責任状授受などの際に使われる東京都道。東京駅舎のライトアップを撮影できる絶好のフォトスポット。

⑧ 東京駅 ドーム天井 2012年、**重要文化財**でもある東京駅舎を保存・活用して1914年に京野会館が建築された当時の姿を復元。天井をモーターで上げ下げされた後も、復元の意匠が映し出されている。

⑨ 大手町の森 丸の内仲通りの先にある、大手町の森の上に作られた「大手町の森」。200本の樹木や多くの山野草が植栽されており、都市緑化のモデルとして注目を浴びている。

⑩ 大手町仲通り 大手町ファウンデーションの隣に位置する屋外広場。**東京のユニークなユニークにも認定**されており、MICEの会場としても活用されている。



【ご利用者の声】国土交通省 ご担当者様

DMO東京丸の内様には、会議の都内開催が決まり、まさにこれから準備をはじめようという初期の段階からサポートを依頼しました。こちら側のオーダーは、「せっかくならば、会議が終わった後も東京らしい時間の過ごし方、東京のまちを楽しめるエリアで会議を開催したい」という曖昧な投げかけでしたが、丸の内駅舎を望む会議会場のアレンジから名刺交換会の飲食メニューの提案、イルミネーションが煌びやかな丸の内仲通りでの海外ゲストのエクスカッションまで、こちら側の意向に応じたさまざまなご提案・サポートをいただきました。

結果的に、会議参加者の皆様からは「また次も参加したい」と大変好評を得ることができ、また機会があればサポートをお願いしたいと考えています。

